運営推進会議定期報告書

概 要:新型コロナウイルス感染拡大防止対策の取り組みとして、令和4年 1月運営推進会議を中止とし、定期報告事項をまとめました。

報告事項:前回運営推進会議からの取り組み

- ① 入居者様の動向
 - ・92 歳女性 1月21日発熱症状あり、発熱外来受診しコロナウイルス抗原検査陰性。当初より風邪症状はなく、翌日には解熱しています。 居室にて隔離対応し26日には対応解除しました。
 - ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、入居者様の家事活動(調理)の中止、食堂テーブル上に仕切りを設置中。
 - ・面会は中止をしています。又、限定的な外出として、職員同行により専 門医療機関の受診を行っています。
 - · 行事報告(令和3年11月30日以降)
 - <老健合同>

感染症拡大防止の為中止。

<グループホーム>

12月18日 防災訓練(大雨想定)別添報告をご覧ください。

12月24日 クリスマス会

- 1月上旬 正月行事(書初め、福笑い)
- 1月14日 入居者様誕生会(希望メニュー トンカツ提供)
- 1月25日 入居者様誕生会(希望メニュー 粕汁提供)
- ② ちゃんまいろ紹介

別添「ちゃんまいろ」248 号、249 号ご確認ください。

③ ヒヤリハット報告

今回、令和 3 年 11 月 16 日から令和 4 年 1 月 25 日まで分につきましてはヒヤリハット件数 6 件でした。

詳細につきましては別添「ヒヤリハット報告書」をご確認ください。

尚、6件中4件は同じ入居者様となっています。シルバーカーを利用されていましたが、転倒が続くため車イス利用となりました。見守り体制も強化し、以降は転倒なく過ごされています。

④その他

- ◎前回会議報告へ頂いたご意見、およびご質問への回答
 - ○糸魚川市福祉事務所介護保険係様より
 - ・新型コロナウイルス感染症については国内でも新たな変異株による 感染が確認され、感染拡大が懸念されますが、国及び県から示され た面会の実施にあたっての方針を踏まえ、各事業所において実施方 法等を検討いただくようお願いします。

前回の資料の中で、ICT等のテクノロジーの活用についてのご意見をいただきました。

事業所で負担となっているものとして、文書等の作成・提出に係る 業務の負担が大きいと感じています。厚生労働省でも全国的な調査 結果を踏まえ、事業所の運営や報酬請求関係の書類の簡素化の方針 が示されており、当市でも国の方針を踏まえて簡素化を進めている ところです。

また、ICT等の活用については、事業所運営に関係する書類の電子申請化の他、ケアマネジャーとサービス事業所のケアプラン等の情報連携についても検討されており、引き続き事業所の事務負担の軽減に努めてまいります。

[回答]グループホーム

上記ご意見を頂きましたのが 12 月中旬ですが、それから一カ月余りで、懸念されていた感染拡大がまさに現実のものとなっています。 市内でも感染事例が毎日確認され、ご面会につきましても中止を継続せざるおえない状況となりました。

引き続き感染状況を注視して参ります。

ICT 活用ということで文書の電子化が進んでいますので、スムーズに導入できるよう情報の収集に努めてまいります。

○ご家族様より(※頂いたお手紙より抜粋)

・先月の報告書拝見しました。外部評価は法的な義務付けであること がわかりました。他施設においても外部の目が入らない状態が続くの は問題だと思っていたので安堵しました。

コロナが収束したら保育園の子供たちと接する機会を設けてほしい と思います。私達も孫と接する時、面倒を見ているつもりでいました が、こちらが元気をもらっていることに気づきました。小さな子供は 先入観なく接する為、高齢者の自然な笑顔と頑張る力が引き出される と思います。小さい子供の笑顔は人の心を温かくしてくれるものだと 実感しました。

認知症への社会の理解を深めつつ、同じ社会の一員として住み慣れた 地域で暮らし続けられるよう「共生」と「予防」を車の両輪として地 域での取り組みが大切だと思います。

行政の方へお願いです。本人や家族の声を大切にして、地域の取り 組みを支援する姿勢で取り組んでいただきたく思います。

[回答]グループホーム

当法人には職員の為の保育室が設置されており、以前は子供たちがグループホームを訪れ、走りまわっている光景もありました。

小さな子供を抱っこしてニンマリと笑う入居者様の姿は職員の記憶に も残っています。

しかしながら通年で発生するノロウイルス、インフルエンザ、そして 新型コロナウイルス等、様々な感染症に対し年間通して警戒せざるを えない状況となり、交流を持てない状況となっていました。

感染症収束に目途が立たない現状ではありますが、頂いたご意見を 心に留め、アフターコロナを見据えて地域へのどのような働きかけが 出来るのか思索してまいります。